



一般国道 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査

かみかすや わだうちいせき 上粕屋・和田内遺跡

(伊勢原市No.206)

中世の大溝と平安時代集落跡の発見

かみかすや わだうちいせき 上粕屋・和田内遺跡の発掘調査

伊勢原市上粕屋に所在する上粕屋・和田内遺跡では、一般国道 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う発掘調査で江戸時代から中世、平安時代といった各時代の遺構や遺物が発見されています。

江戸時代の遺構としては「屋敷」を囲んでいたとみられる溝や道跡、様々な形の土坑が発見されました。中世は後期(室町時代～戦国時代)とみられる遺構と前期(鎌倉時代)とみられる遺構の2時期の遺構が認められています。中世後期の遺構としては幅4m深さ2mの大溝が発見されました。中世前期の遺構としては柱穴群が発見されています。柱穴には底に石(根石)を置いたものも認められました。調査地点の近くには中世に建立された極楽寺があったとされ、これまで周辺で行われた調査では火葬骨を納めた中世の蔵骨器や湯屋とみられる遺構が発見されています。柱穴群や大溝も極楽寺に係わる施設かもしれません。

平安時代の遺構としては、竪穴住居跡と掘立柱建物跡が発見されています。これらの遺構は建物の軸線がほぼそろっていて、何らかの関連性をもって営まれたものと考えられます。あるいは「屋敷地(居宅)」のようなものがあったかもしれません。

今回の調査における発見遺構と出土遺物

——発見遺構——

中世後期～近世 : 道跡、溝、土坑など

中世前期 : 柱穴群、土坑など

平安時代 : 竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土坑

——出土遺物——

中・近世 : 陶磁器など

平安時代 : 土師器・須恵器、灰釉陶器など



大溝 (室町時代～戦国時代)

幅4m深さ2m。出土遺物はほとんどありません。江戸時代のはじめ頃には完全に埋没していました。



柱穴群 (鎌倉時代)

柱穴がたくさん発見されました。中には底に石を敷いたものが見られます。



掘立柱建物跡 (平安時代)

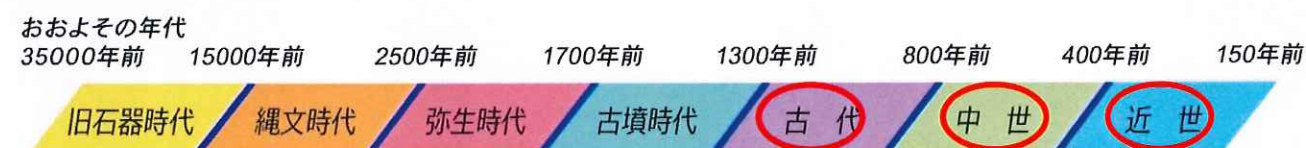
地面を掘って柱を建てた建物の跡です。柱を埋めた土はかなりしっかりと固められていました。

梁間2間×桁行3間の建物跡(奥側)と梁間3間×桁行3間の建物跡(手前側)が建て替えられていました。



竪穴住居跡 (平安時代)

2軒の竪穴住居跡が並んで発見されました。左の住居跡のカマドは完全に壊されていました。右の住居跡のカマドは石を組んで作っています。



※上記の表は調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期をしめしたものです。

※内容は調査途中でもあり、今後の調査の進展や整理作業によって評価を変える場合があります。

上粕屋・和田内遺跡 (伊勢原市No.206) 見学会

2019年 7月 13日

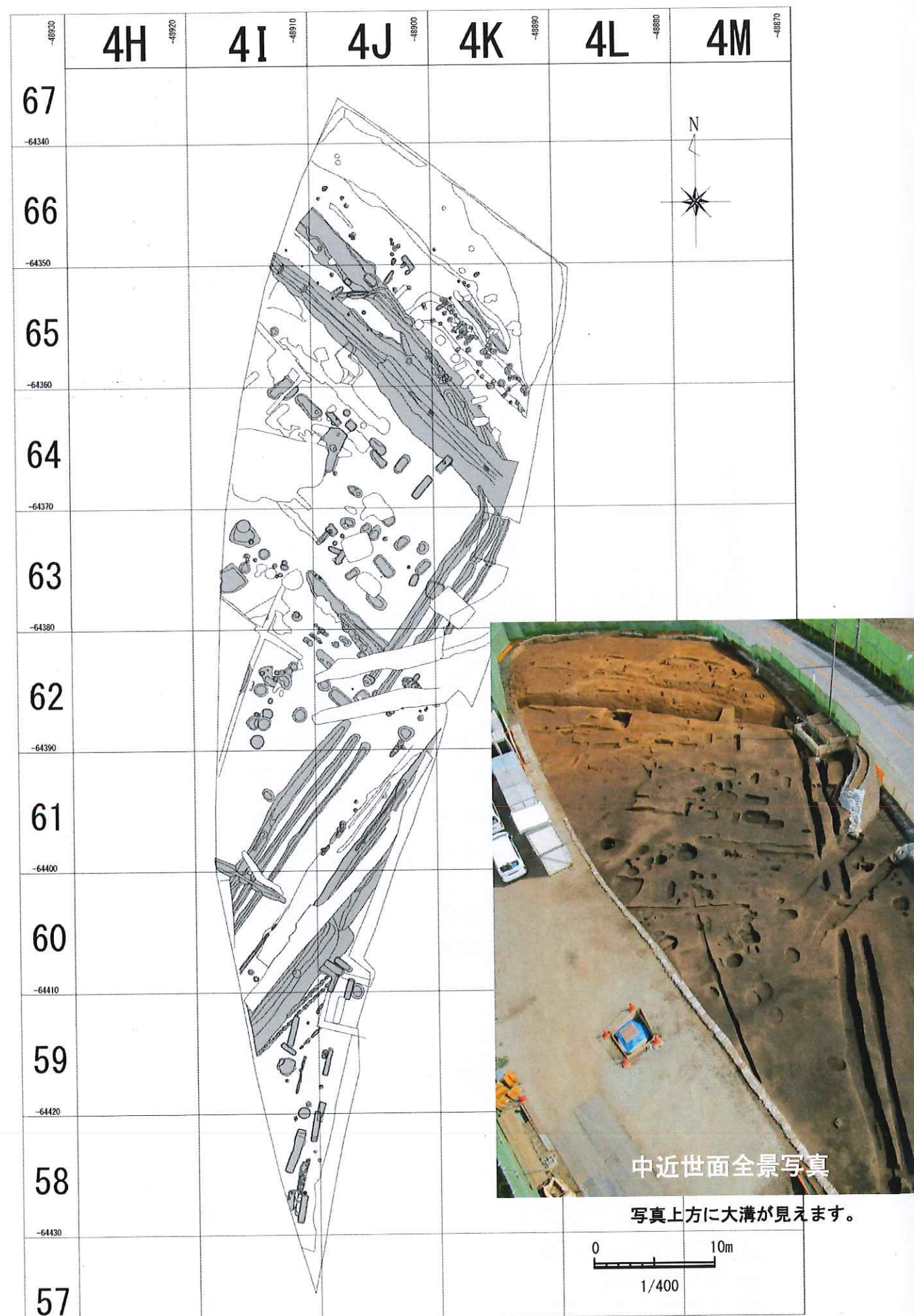
主催: 公益財団法人かながわ考古学財団

共催: 伊勢原市教育委員会

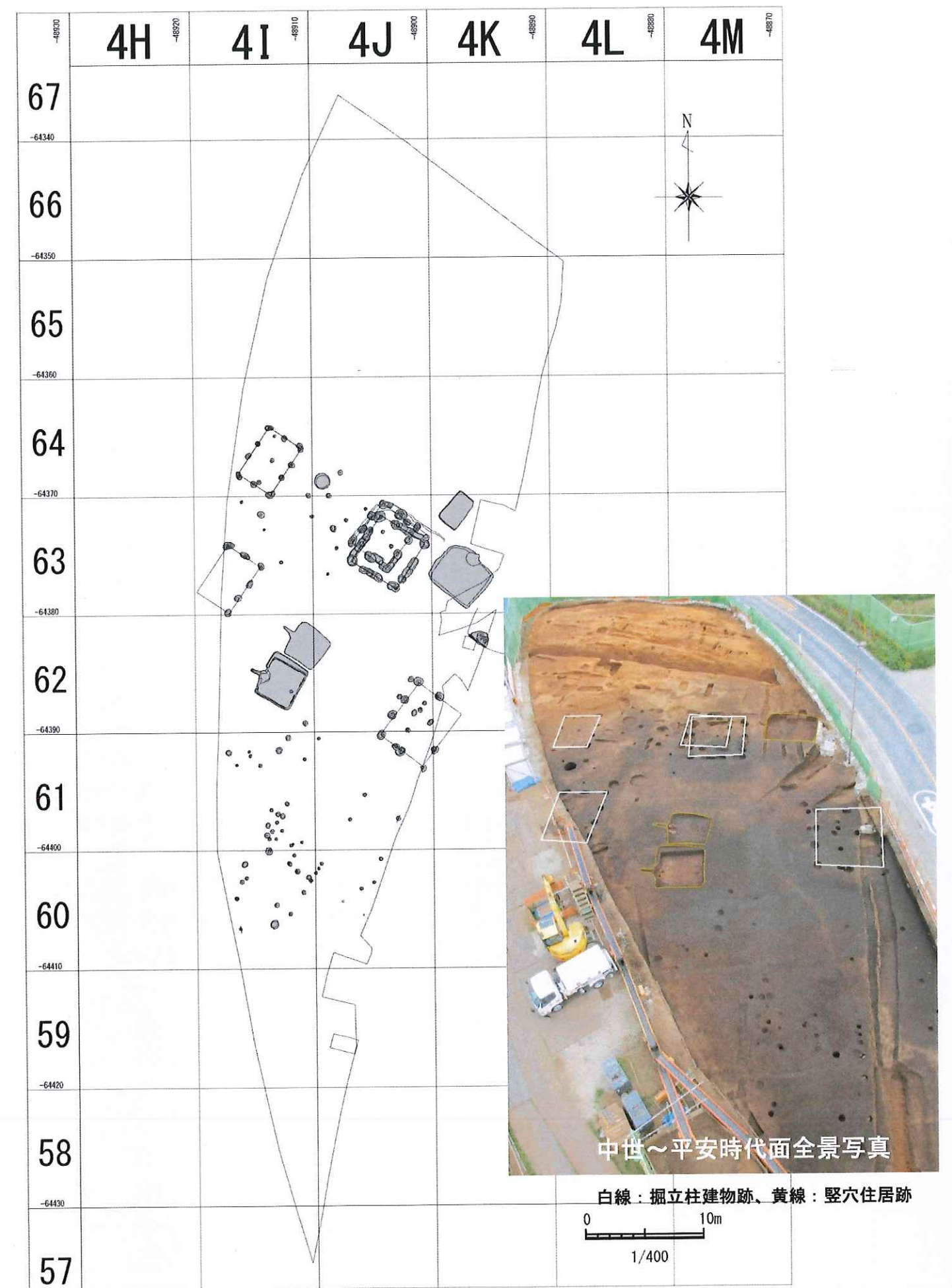


地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業

一般国道 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査
上粕屋・和田内遺跡 見学会資料
公益財団法人かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
Tel. 045-252-8689 <http://www.kaf.or.jp/>



近世～中世後期の遺構分布図



中世前期～平安時代の遺構分布図